

## リニア・3ルート建設費の試算発表！ 沿線地域の意向受け入れ困難を強調？！

**迂回ルートなら6400億円増額！長距離！時間もかかる！**

**強引・傲慢！**

会社は、「リニア中央新幹線」3ルートの路線距離、建設費をマスコミに明らかにしました。この数値は、18日開催の自民党リニア特命委員会や国交省などに示すと共に、沿線自治体などへも説明するとしています。試算では、長野県を迂回する伊那谷ルート、木曾谷ルートをとった場合は、当初の試算5兆1000億円をはるかに超える、5兆7400億円（伊那谷）かかるとしています。金子慎総合企画本部長は、マスコミに対し、「距離も時間もかかる」と迂回ルートに難色を示したと言われています。

さらに、1県1駅、建設費は地元負担など、一方的に強引・傲慢に沿線自治体に説明しています。このような進め方で、沿線の理解が得られるとは到底思えません。反発を生むのは必至です。なぜ合意形成も得ずにそこまで強引に押し進めなければならないのでしょうか。今回の建設費の比較発表は、まさに迂回ルートを要望している自治体への恫喝です。「リニア中央新幹線」構想には、まだまだ多くの問題点があります。環境への影響、人体への影響、技術的課題、採算性の問題など、十分な検討・事前評価が必要ではないでしょうか。

6月18日東京新聞

リニア中央新幹線の3ルート

ルート	路線の長さ	所要時間	工事費
木曾谷ルート	334 km	46分	5兆6300億円
伊那谷ルート	346 km	47分	5兆7400億円
南アルプスルート	286 km	40分	5兆1000億円

(東京～名古屋間)

**迂回ルートなら  
工事費6000億円増  
リニア新幹線で試算**

JR東海が、首都圏―中京圏を結ぶリニア中央新幹線の3ルートを対象に行った工事費などの試算結果が十七日、分かった。同社が想定する南アルプスを貫通するほぼ直線のルートが最も工事費が少なく、長野県が要望する南アルプスを北へ迂回するループスは五兆七千四百億円と最も多くかかる。

JR東海は十八日にこの試算結果を国土交通省や沿線自治体、自民党に伝える。JR東海は直線ルートを想定して工事費を全額負担すると既に表明しており、迂回ルートを実現するには工事費の差額六千四百億円の負担の在り方が焦点になる。